

# 学校評価シート（自己評価）

## 文京学院大学ふじみ野幼稚園

### 1、園の教育目標

- ・ 誠実（誠実に、じっくりと）
- ・ 勤勉（よく動き、よく考える）
- ・ 仁愛（思い合う、助け合う）

### 2、具体的な目標や計画（）

- ・ 身近なものや遊具に興味を持ち、自分なりに試したり、作ったり、試したり、工夫して遊ぶ
- ・ 身近なものを大切にする

### 3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果 (※)	結果の理由
一人ひとりがものにじっくりと取り組む。	A	・1年を通して、幼児の興味や発達に合わせて生活時間を調整しじっくりと取り組める環境を設定した。 ・イメージがわかりやすいように具体的な物を設定していき、子ども自身で形作ることが楽しめるように素材を多く出す環境の設定を変化させていった。
他者への興味・関心を持つ。	B	・友だちに意識が持てるよう、友だちのことに注目できるような声かけをしたり、友だちとかわる機会を作ったりした。 ・グループ活動を取り入れ、共に生活する中をして感じられる存在を増やしていった。 ・クラスの集まりや遊びの場面で、クラスメイトの存在を意識できるように声をかけていった。
いろいろなものに興味・関心をもつ。	A	・遊んでいる時の子どもたちの思いを聞き、事前に設定していた環境を変化させていったことが、幼児のイメージを具体的に表現したり、形にしたりすることに繋がっていった。 ・子どものつぶやき、興味があることを知り、遊びを提案し実現できる援助をしていった。2学期以降になると子どもたち自身で過去に行っていた遊びを再現して出来たという気持ちを大切に援助した。
無駄使いしないように考えて使用する。	B	・素材を扱いながら必要な分量を伝えていったことにより、扱い方を意識する様子が見られた。試している様子の時は見守り、方法を知らずに素材を粗末にしている時には方法を伝えていった。
使ったものは片付ける。	B	・子どもが扱う素材を種類ごとに分けること特に意識して扱い、子どもたちにも声かけしたことで、子どもたちも素材ごとに分ける意識が高まった。
丁寧に扱う。	B	・丁寧に扱う姿を見せると共に言葉で伝えていった。 ・玩具を雑に扱ったり、素材を考えずにどんどん使用したり姿がある。その時「もったいないね」と話をする意識する姿は見られた。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	保護者アンケートの結果、そして、各個人の自己評価からは、おおむね目標は達成できていると思う。次年度は、情報共有の方法を工夫し、幼稚園の保育を知ることができるように努めることで、さらに理解を得られるのではないかと考える。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
ふじみ野幼稚園の保育で大切にしていることが伝わるように保護者への情報の提供の方法を工夫し、相互理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が情報を受け取りやすいメールの頻度を考え、送信する。</li> <li>・添付している手紙の見やすさを工夫する。</li> <li>・保育に対する保育者の思い、行っていることからの育ちが伝わる内容にする。</li> </ul>